

2025 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 クルーズ株式会社
(コード番号 2138：東証スタンダード)
所 在 地 東京都渋谷区恵比寿四丁目 3 番 14 号
恵比寿 SS ビル
代 表 者 代表取締役社長 小 渕 宏 二
問 合 せ 先 執行役員 最高財務責任者 関 本 清 高
CFO
電 話 番 号 (03) 6387-3622

通期連結業績と前期実績の差異および特別損失（関係会社株式評価損および貸倒引当金繰入額）
の計上に関するお知らせ

当社は、2025 年 3 月期（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）において、通期連結業績と前期実績との間に差異が生じたので、お知らせいたします。併せて、当社の個別決算において、下記のとおり特別損失を計上することとしましたので、お知らせいたします。なお、当該特別損失は、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

記

1. 2025 年 3 月期（通期）連結業績と前期実績値の差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前期実績値 (A) (2024 年 3 月期)	百万円 14,270	百万円 161	百万円 1,226	百万円 1,008	円 銭 91.15
当期実績値 (B)	14,191	△1,025	△837	△530	△53.74
増減額 (B-A)	△78	△1,186	△2,063	△1,538	—
増減率 (%)	△0.6%	—	—	—	—

2. 開示を要する差異が生じた理由

営業利益が大きく減少している主な理由は、GameFi 事業において、ゲームタイトルの売上が想定より低調であることや新作ゲームタイトルの開発費の影響により、前期 56 百万円のセグメント利益から当期は 872 百万円のセグメント損失となったこと、メディア事業において、前期 204 百万円

のセグメント利益だったものが、当期 7 百万円のセグメント利益となったことが主な理由に挙げられます。経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の差異については、上記の理由に加えて、投資事業組合運用益が前期 1,033 百万円から当期 211 百万円となったことが主な理由に挙げられます。

3. 個別決算における特別損失の計上について

当社は、2025 年 3 月期の個別決算において、本日解散決議を行った CROOZ Blockchain Lab 株式会社などの当社の連結子会社の株式について評価を行った結果、実質価額が低下していることから、関係会社株式評価損として 163 百万円を特別損失に計上しました。

また、同様に当該連結子会社に対する貸付金に貸倒引当金の計上が必要と判断したことから、1,401 百万円の貸倒引当金繰入額を特別損失に計上することといたしました。

4. 連結業績に与える影響

上記の特別損失（関係会社株式評価損および貸倒引当金繰入額）は、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以上